



データインテグレーション

ビジネスクリティカルなデータのための最新のデータパイプラインをすばやく構築。次世代アプリの活用を通じてデータサイロを打破し、分析に革新をもたらします

概要

データはデジタル経済の生命線であり、データを運ぶパイプラインはITインフラストラクチャに不可欠です。Precisely Data Integrity Suiteのデータインテグレーションモジュールは、重要なシステムから最新のプラットフォームへデータを接続する、回復性とパフォーマンスに優れたデータパイプラインを構築します。これにより迅速なイノベーションとより優れた競争優位を実現することが可能となります。

データインテグレーションモジュールにより、適切な顧客データが適切なアプリで適切な時に使用できるようになるため、内部ではより豊富なデータ主導の分析を、外部ではより優れたカスタマーエクスペリエンスを実現できます。また、データインテグレーションはData Integrity Suiteの一部として、その他のモジュールとシームレスに連携しながら機能するため、エンタープライズメタデータや関連付けなどの情報を使用しながらビジネスのコンテキストをさらに多く得ることができます。

利点

- 最新のクラウドベースデータプラットフォームにより、従来のビジネスデータソースからの複雑なデータを統合して、収益向上につながる新しいアプリケーションを構築
- オープンシステムのデータベースからメインフレームやIBM iに至るまで、すべてのミッションクリティカルなシステムの価値を拡大
- すべてのデータにすばやくアクセスすることにより、プロジェクトをより迅速に、予定通りに、予算内で完了できるようにして、time to valueの時間を短縮
- プログラミングや専門的なスキルの必要なしに、複雑なデータ形式をプロジェクトに統合
- データの「民主化」により多くの部門がデータにアクセス可能
- データカタログで、使用中のソースやターゲットからメタデータをキャプチャ
- 新しいアプリケーションやユースケースの導入で柔軟性を保つことができるよう、将来性を確保した設計

Health	Replication Pipeline	Type	Engine Processes	Replication	Capture	Log Reader	Backlog Rows
	iSeries-Db2	Synchronize	OK	OK	OK	OK	0

Health	Replication Pipeline	Backlog Rows	Type	Current Phase	Last Refreshed
	iSeries-Db2	0	Synchronize	Replication	4/26/2022 2:55:18 PM

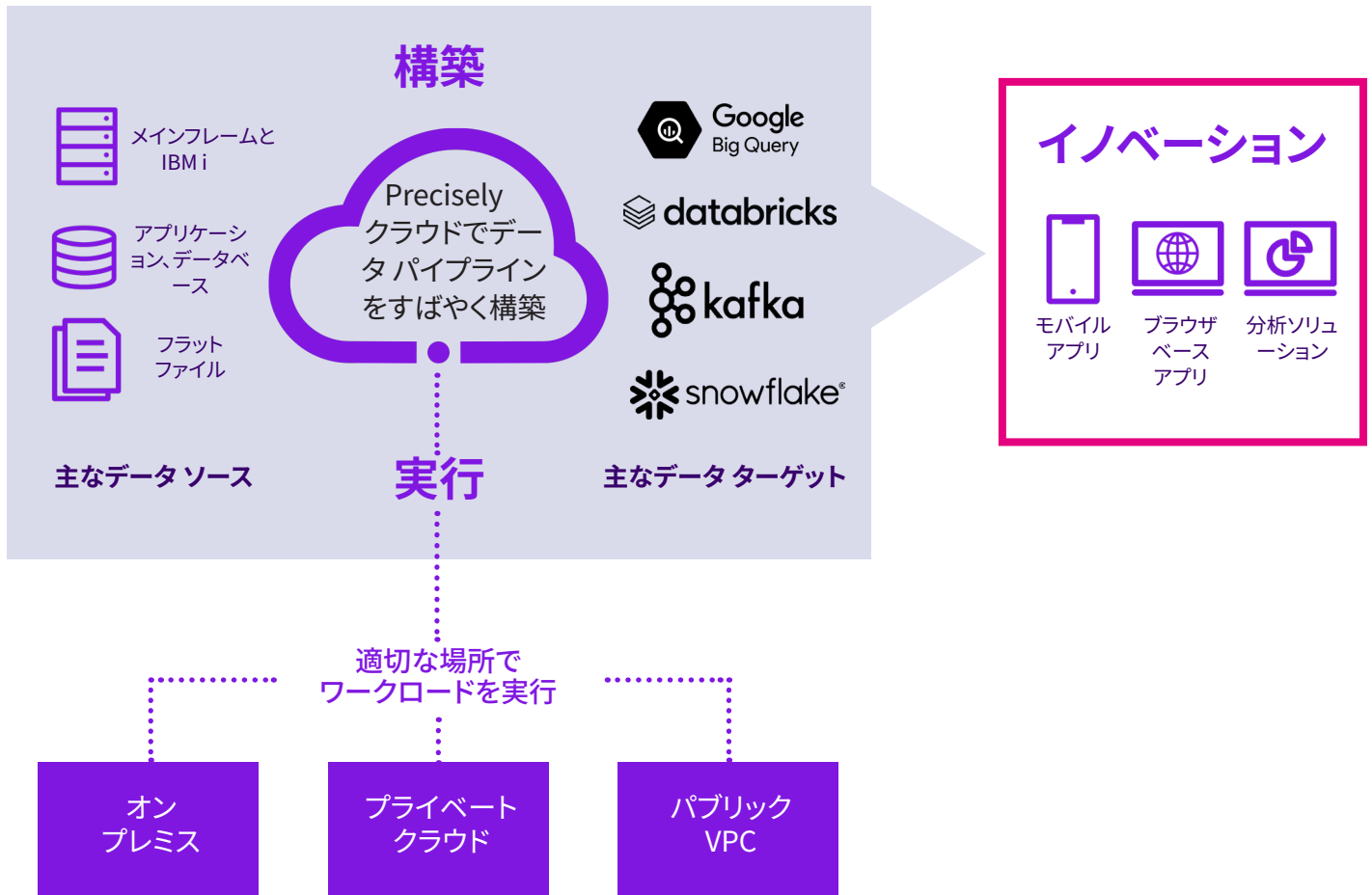
Runtime Engines	Engine Processes	Replication	Staged	Active
JohnDSP-Runtime	OK	OK	79	79

Data Connections	Type	Role	Capture	Log Reader	Runtime Engine
Itas08	Db2 for IBM i	Source	OK	-	JohnDSP-Runtime
Kafka(Z)	Kafka	Target	-	-	JohnDSP-Runtime

Log Reader	Journal	Journal Receiver Library	Current Sequence Number	Replication Pipeline
DSP/RSPRNS	DSP/RSPRNS	DSP/RSPRNS	00000000000000000000000000000000	iSeries-Db2

仕組み

- **接続とカタログ:** ミッション クリティカルなシステムへの接続を確立し、そのシステム内の関連するデータ資産をカタログ化します。
- **設計と展開:** ニーズに合わせて構築したデータパイプラインを、次世代アプリケーションで必要な時に必要に応じて環境に展開できます。データパイプラインには豊富なプリセットやフィルターが用意され、ナビゲートしやすいUI でカスタマイズすることもできます。
- **監視:** パイプラインに関連するアラートや統計を随時表示します。
- **機能拡張:** 各 Data Integrity Suite モジュールに付属の Data Integrity Foundation を活用して、データの正確性、整合性、コンテキストを確保します。



機能

- **データインテグレーションダッシュボード**
オールインワンのダッシュボードでデータパイプラインを作成・表示・監視します。ダッシュボードは実際のデータユーザーを想定し、使いやすく設計されています。
- **設計は一度だけ、どこでも展開**
Precisely クラウドでネイティブにパイプラインを構築し、お持ちの環境のどこにでも展開が可能。データがオンプレミス、ハイブリッド、またはマルチクラウド環境のどこに存在しようと、データのコントロールを維持できます。
- **自動アラート**
パイプラインの正常性とステータスに関する、分かりやすいアラートをリアルタイムで受け取ることができます。
- **高度なフィルター機能**
複製したくないデータの要素を除外し、プロジェクトで実際に必要なものだけを受け取ることができます。
- **パイプラインをセルフサービスで作成**
データパイプラインの構築と監視は、ナビゲートしやすいUIの上でおこなえます。プリセットでありながらカスタマイズ可能な構築オプションにより、必要なデータを柔軟に複製することができます。